

株式会社 F・ジャパン

〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘25-3

TEL 0739-26-7297 FAX 0739-

26-0506

OPEN: 9:00~18:00
HP: <http://f-japan.hoiy.jp>

“交通事故死者数” 15年ぶりに増加

後を絶たない悲惨な事故
高齢者が54.6%占める

1月15日未明、長野県軽井沢町でスキーツアー客を乗せた大型バスが崖下に転落、15人が命を落とす悲惨な事故がありました。この報道に接し、犠牲者の多くが大学に通う未来ある若者だったこともあり、多くの国民が悲しみ、心を痛めました。誰もが交通安全への一層の取り組みが重要だとあらためて感じたはずです。しかし、飲酒運転などの悪質・危険な運転による事故が後を絶たないのも現実です。



警察庁の統計によると、平成27年に交通事故で亡くなった人は前年より4人増え4,117人で、15年ぶりに増加する結果となりました。このうち65歳以上の高齢者が、前年より54人多い2,247人で、全体に占める割合は54.6%と過去最も高くなっています。事故に遭った場合の致死率が高い高齢者の人口増が全体の死者数の増加に影響したとみられています。また、死亡事故以外も含めた交通事故の発生件数は、前年に比べ3万7,053件減の53万6,789件、負傷者数も4万6,248人減の66万5,126人で、いずれも11年連続で減少しているものの、1年間にこれだけの事故が起きています。都道府県別で死者数が最も多かったのは愛知県の213人でした。年間の交通事故死者数は、過去最悪だった昭和45年の1万6,765人をピークに減少傾向が続き、平成8年には1万人を下回りました。シートベルト着用義務化、エアバッグやABS搭載など車の安全性向上、飲酒運転の厳罰化などもあって、平成13年(8,757人)から14年連続で減少していました。一方、高齢者人口の増加に伴い、交通事故の死者数に占める高齢者の割合は上がり続けています。平成7年の構成比は30.3%でしたが、平成17年には42.6%となり、平成22年には50.3%と半数を超え、平成26年は53.3%でした。とくに高齢者が犠牲となる事故で多いのが「歩行中」と「自転車乗車中」となっています。

お気軽にご相談ください！ ご相談だけでもかまいません

私たちは、お客様一人ひとりに合わせた保険をコンサルティングいたします。